

## 2. 本学小児歯科外来患者の実態調査 — 過去5年間の患者動向について —

○山口 昭一, 小田 博, 平野 洋子,  
安河内理恵, 小島哲一郎, 市野 浩司,  
尾田 順民, 黄 郁杏, 濱田菜穂子,  
中田 稔 (九大・歯・小児)

本学小児歯科学教室は, 昭和54年6月に開設され, 同年10月より小児歯科外来診療が開始され, 現在に至っている。

今回, 我々は, 当科開設以来の患者動向, 特徴, 問題点を分析し, 今後の当科における診療体制の改善及びより効果的な患者教育の指標を得る目的で, 過去5年間の新患者の実態を調査した。又, 小児歯科診療において, 定期診査は欠くことのできないものであるが, 全ての患者が定期診査に応じて来院するわけではない。そこで, これら患者らの転帰についても調査を行ったので合わせて報告する。

調査期間及び方法: 調査の対象とした期間は, 当科において現状のような診療体制が確立した昭和56年4月より昭和61年3月までの5年間で, 初診時の問診表及び処置記録等に基づき, 実態の分析を行った。

調査項目は, 新患時年齢, 性別, 年度別及び月別新患患者数, 主訴, 全身疾患の有無, 歯科経験の有無, 転帰等である。尚, 転帰については, 昭和61年3月31日現在のものである。又, 資料の不備な患者については, 今回の調査の対象より除外した。

以上の調査結果について報告する。

2706